

ゲームの課金に注意しましょう

ゲームの中で使えるアイテムなどを買う「課金」のトラブルが、大きな問題となっています。

課金トラブルの例



いいなあ
.....

A男は、同じゲームをやっている友だちからアイテムをじまんされ、自分もほしくなりました。



一度だけだし、いいよね

A男のスマートフォンには、前に本を買ったときに入力してもらった、親のクレジットカード情報が残っていたため、A男は一度だけのつもりで課金し、アイテムを買いました。



20万！？
何の料金？

しかし、一度だけのつもりが、次々にほしいアイテムがでてきて、課金をやめることはできず、次の月、A男の親は大きな金額をせい求されたのでした。

クレジットカードなどを使った課金は、その場でお金をはらう必要がないため、お金を使っているという実感があまりなく、ついつい課金を重ねてしまい、たくさんのお金を使っていたということがよくあります。

また、ゲームによっては、登録した時の年れいによって「〇〇円までは課金できる」という制限を決めていることがあります。しかし、そういう制限のない保護者のスマートフォンなどを使って、たくさん課金してしまったというケースもめずらしくありません。

お金の使いすぎを防ぐために、課金に関するルールを保護者といっしょに考えてみましょう。

保護者の皆様へ

ゲームの課金は、お金を使っているという感覚があまりなく、気づくと高額になっていたということがあります。家庭で子どもと話し合って、下に紹介しているような家庭での課金に関するルールを作り、必ずそのルールを守るように声掛けをお願いします。

課金に関するルールの例

- ・課金をしないで遊ぶ
- ・課金をするときは、おうちの人に相談する
- ・1か月に〇〇円までと、課金の制限を決める

我が家のルール（話し合って決めたことを書き、目立つ場所にはるのじゃ。）

